

4-1	コロナと景気のK字回復	所属 立命館大学 氏名 河原 和之
資料名	<p>「上場500社明暗ランキング」 『週刊ダイヤモンド「戦慄のK字決算」』2021年5月15日号所収 NHK NEWS WEB https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210516/k10013033801000.html</p>	
資料内容	<p>○ K字経済の世界で生き残る企業を、「売上の回復」「時価総額の騰落率」「資金繰」「成長に向けた投資」の五つの指標から500社ランキングを紹介している。</p>	
教科書等との関連	<p>中学校公民的分野 企業の経済活動 高等学校公民科 経済活動と市場 景気変動</p>	
キーワード	<p>コロナ 市場経済 景気変動 格差</p>	
ねらい	<p>◆コロナ禍では「K字型」という回復の格差と二極化が鮮明になってきた。その背景や原因を探究することからコロナ禍による経済への影響を理解する。</p>	
活用場面 あるいは 授業プラン の概略	<p>① 任天堂ゲーム機「あつ森」を紹介 売上が30%を越え、日本の人口の4分の1の3263万本が販売される (2021年3月末) <発問>なぜゲーム機がよく売れたのか？</p> <p>② コロナ禍で売れた商品・売れなかった商品 <グループ討議>商品30種類を「売れた」商品と「売れなかった」商品に分類する (例) 売れた「プロテイン」と売れなかった「紙おむつ」 <ペアワーク>上記分類からコロナ禍の消費の特徴を交流する</p> <p>③ コロナ禍の経済「回復」の特徴 <発問>V U L Kのどの型か？</p> <p>④ 明暗がわかれた企業 10社を例示する。 <グループ討議>コロナ禍で営業利益が良くなった業種と悪化した業種に分類しよう (例) 良—ヤマトHD ソフトバンク 悪化—塩野義 西日本旅客鉄道</p> <p>⑤ コロナ格差 <考えよう>以上の事例からコロナ禍によりどんな格差が広がっているか「○○と○○」 という形でまとめよう 例 「接触と非接触」「海と空」「デジタルと対人」など</p>	
備考	<p>子どもたちのよく知る会社等など具体例から考察しつつ、コロナ禍経済の特徴を分析する</p>	